

富士箱根伊豆国立公園 指定80周年記念誌



【発行】

富士箱根伊豆国立公園指定80周年記念事業実行委員会

富士箱根伊豆国立公園の将来に向けて ～指定80周年記念宣言として～

前文

我が国の最高峰であり、いにしえより信仰の対象や芸術の源泉としてあがめられてきた富士山、日本の東西を結ぶ交通の要衝であり、多様な泉質の温泉と美しい自然で多くの旅人を魅了してきた箱根、ユニークな形成過程を持ち、太平洋型のブナ林を有する山々や美しい海岸線が人々を楽しませてきた伊豆半島、黒潮の流れを横断するように火山島群が点在し、島ごとに独自の自然と文化をはぐくんできた伊豆諸島、この4つの地域から成る富士箱根伊豆国立公園は、太平洋から霊峰富士に連なる火山群として地質学的な一体性を有し、それら地形と文化が創り出す多様な景観とともに、多くの場所が富士山の展望地として、人々に親しまれてきました。

富士山地域と箱根地域が昭和11年に国立公園に指定され、その後、昭和30年に伊豆半島地域が、昭和39年には伊豆諸島地域が編入されるなか、国立公園において、優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進が図られてきました。

外国人や、障がいを持つ人などを含むすべての人々に優しい利用の形が求められている現在において、国内外からの利用者数が日本一多く我が国を代表する国立公園として、私たちが守り伝えてきた日本の自然の素晴らしさを国内外に発信していく役割は、ますます大きくなっています。

本文

富士箱根伊豆国立公園指定80周年にあたり、私たちは、国立公園の自然を守り、次の世代に引き継いでいくため、そして、すべての利用者による魅力をより感じてもらうため協力していくことを誓い、次のとおり宣言します。

1.富士箱根伊豆国立公園が誇る自然、景観、文化が、その保護と適正な利用に向けた先人の努力によって今があることを意識し、多様な利用者が、自分に合わせた心地よい体験を持ち帰ってもらえるよう、適切な情報の発信、施設やエコツアープログラムなどの充実を通じ、利用環境の向上を図り、魅力ある自然、景観、文化を未来へ継承します。

2.活火山を複数抱える国立公園として、火山という自然の脅威に謙虚に向き合い、火山防災協議会等と連携して、火山防災に関する安全対策によって利用者が安心して訪れることができる利用環境を整えるとともに、自然の恵みと畏敬の念を感じることができる資源であることを認識し、ジオパーク推進協議会をはじめとする関係機関との連携を通じ、火山地形が織り成す大地の魅力を多くの人々に伝えます。

3.自然景観と文化的な多様性を有する富士山・箱根・伊豆半島・伊豆諸島の4つの地域が、各地域のつながりとそれぞれの個性を再確認し、連携してその魅力を国内外に伝えていきます。

4.富士箱根伊豆国立公園を地域の宝として再認識し、行政のみならず、観光事業者、交通事業者、山小屋関係者、自然を案内するガイド、さらには、農林水産業を営む人や、地域に暮らす人も含めて、地域の多様な関係者が協働して、希望と誇りを持った魅力ある地域づくりに向けて、国立公園を協働して管理運営していく体制の構築を進めます。

平成28年3月6日

富士箱根伊豆国立公園指定80周年記念事業実行委員会

富士箱根伊豆国立公園

太平洋の島々から霊峰富士を繋ぐ一大火山群

——火山地形と文化が創り出す多様な景観

指定年月日 …… 昭和11(1936)年2月1日、富士箱根国立公園
(昭和30(1955)年3月15日、伊豆半島地域編入・名称変更、
昭和39(1964)年7月7日、伊豆諸島地域編入)
面積 …………… 121,695ha
関係都道府県 …… 東京都、神奈川県、山梨県、静岡県

富士山は、単にわが国の最高峰の山というだけでなく、日本人の心の奥に根差した名峰であり、日本の象徴として世界的にも知られている山です。

富士箱根伊豆国立公園は、富士山を北端として富士火山帯に属する各種火山地形や温泉、変化に富む海岸線や島嶼からなる火山国日本を代表する国立公園で、富士山を中心にその周辺の湖沼や高原を含む富士山地域、東海道の宿場町であり、古くから温泉地として名高い箱根地域、天城連山と変化に富んだ海岸線、そして温泉が魅力の伊豆半島地域、今日でも火山活動が活発な大島・三宅島等の伊豆七島からなる伊豆諸島地域の4地域に分けられます。いたるところから秀麗な富士山が眺望でき、首都圏に近いこともあって、日本で来訪者が最も多い国立公園です。

国立公園とは、自然公園法によって定められ国が指定・管理する自然公園です。優れた自然の風景地を保護し、利用の増進を図ること、それによって国民の保健、休養や学習に資すること、また生物多様性の確保に寄与することが目的とされています。昭和6(1934)年に第1号が指定され、現在33カ所が指定されています。

富士山

地形・地質、景観

富士山は、日本一標高が高い成層火山として有名で、均整のとれた山体の美しさは世界的に知られています。標高は3,776mで、山腹には宝永山・大室山等70以上の側火山(中腰や山麓に生じた小火山)が存在し、その多くは北西～南東方向に並んでいます。これらから流れ出た溶岩流は富士五湖(山中湖・河口湖・西湖・精進湖・本栖湖)を形成し、北西山麓の溶岩流の上には広大な原生林である青木ヶ原樹海が広がっています。また、風穴・氷穴や樹木の鋳型のような溶岩樹型といった、火山地帯特有の溶岩トンネルが数多く存在しています。

動植物

富士山では、植生の分布が標高により変化する典型的な垂直分布がみられます。山麓から山頂にかけて、落葉広葉樹林帯・常緑針葉樹林帯・火山荒原へと変化します。新しい火山であるため、ハイマツ群落がないのも特徴の一つです。また、富士山一帯は多くの野鳥が生息し、野鳥の楽園と呼ばれています。

文化

古の時代から美しさが讃えられてきた富士山では、富士を神体とする富士山信仰が芽生え、江戸時代になると民衆の行楽としての信仰登山(富士講)が盛んになりました。また、葛飾北斎の富嶽三十六景を代表とする浮世絵の題材に使われるなど日本人の信仰や美意識、さらに海外の絵画文化にも大きな影響を与え、その信仰の対象と芸術の源泉としての価値が評価され、平成25(2013)年6月、世界文化遺産に登録されました。

箱根

地形・地質、景観

箱根地域は、様々な火山地形や火山噴出物が見られることから、「火山の博物館」と言われています。箱根火山は、何度も噴火を繰り返してきた山々の総称であり、約3,000年前に箱根火山最高峰の神山の崩壊によって川がせき止められてできた芦ノ湖や仙石原、現在も噴気現象が見られる大涌谷などの優れた風景を見ることが出来ます。また、多くの温泉にも恵まれています。独特の火山地形、多様な動植物、特色ある文化・産業が評価され、平成24(2012)年に、日本ジオパークに認定されました。

動植物

箱根火山には、ブナ、ケヤキ等の落葉広葉樹を主とする自然林が残されています。また、国の天然記念物に指定され、多様な湿性植物がみられる仙石原湿原や台ヶ岳の斜面に広がるススキ草原などでは、四季の美しさを楽しむことができます。箱根地域には、サンショウバラやマメザクラ等の富士火山帯特有の植物が生育しています。また、生物学的研究が盛んだったことから、ハコネサンショウウオやハコネトリカブト等の「ハコネ」を冠した動植物も見られます。

文化

箱根は、東西交通の要衝として江戸時代には関所が設けられ、東海道の宿場町として賑わいました。当時から「箱根七湯」と呼ばれ親しまれてきた箱根温泉は、風光明媚な温泉地として、現在でも多くの利用者を魅了しています。

伊豆半島

地形・地質、景観

伊豆半島は、かつて南洋にあった火山島や海底火山群がフィリピン海プレートに乗って北上し本州に衝突して誕生しました。現在も火山活動や地殻変動が続いており、豊かな温泉や日本一深い湾である駿河湾、変化に富んだ美しい海岸線やなだらかな山容の天城連山等、恵まれた地質資源と地質に育まれた自然・文化の保全活用が評価され、平成24年に日本ジオパークに認定されました。

動植物

天城山系の縦走路沿いには、貴重な太平洋側のブナ自然林が大規模に残されており、生物多様性の保全上の重要地域となっています。アマギシャクナゲ・アマギツツジ等が咲く春や紅葉の美しい秋を中心に多くの人が訪れます。

文化

江戸時代の伊豆は幕府直轄領で、江戸城の石垣に用いられた石材が切り出され、韮山代官江川邸や反射炉等が現存しています。川端康成の「伊豆の踊子」、井上靖の「しろばんば」等、文学作品の舞台ともなっています。

伊豆諸島

地形・地質、景観

伊豆諸島地域は、東京からほぼ南、120～290kmの太平洋に点在する火山島です。大島・利島・三宅島・御蔵島・八丈島は玄武岩質の流動性の高い溶岩を主とし、新島・式根島・神津島は流紋岩質の粘り気の強い溶岩から成り立ち、白砂と青い海のコントラストが美しく見られます。大島と三宅島は現在も火山活動が活発で、新旧の溶岩により様々な火山地形が見られます。利島・御蔵島はほぼ円形の火山島で海食崖が発達しており、八丈島は二つの火山が合体してできた島で、対比に特色があります。

動物

伊豆諸島は渡り鳥の経路になっているため鳥類相が多様であり、アカコッコ、イイジマムシクイなど数多くの固有種が生息しています。また、御蔵島周辺海域等ではミナミハンドウイルカが生息し、ルールを守ったイルカウォッチングが行われています。

文化

大島、利島の椿林業、新島における抗火石建築、三宅島の切替畑と呼ばれる独特の農業形態によるオオバヤシャブシの植林など、それぞれの島に特有の文化や景観、風俗習慣があります。江戸時代に盛んに行われた流人(流刑者)の史跡が各所で見られます。

【目次】

富士箱根伊豆国立公園が指定80周年を迎えましたことを、皆様とともに
お慶び申し上げます。ご関係の皆様には、富士箱根伊豆国立公園の保護と適
正な利用の推進のため、格別のご尽力を賜りましたこと、改めて深く感謝申
上げます。

富士箱根伊豆国立公園は太平洋の島々から日本の最高峰の富士山までを網
羅する多様な景観を有しており、国内外からの利用者数が日本一多いことか
ら、我が国を代表する国立公園と言えます。近年では、富士山が世界文化遺
産に登録された他、箱根地域や伊豆半島地域、伊豆大島はジオパークとして
も脚光を浴びていますが、古くから自然景観を守ってきた国立公園制度は、
それを支えてきた地域の皆様の文化や愛着に根ざした営みとご協力による歴
史の上に成り立っています。現在では、自然の風景地のみならず、生物多様
性保全の一端を担うことが改めて位置付けられ、合わせて老若男女さらには
外国人など多くの方が自然とのふれあいを楽しめるように利用上の多様なサ
ービスが求められております。

この度の国立公園指定80周年記念事業では、環境省をはじめ東京、神奈川、
山梨、静岡の都県と関係の36市町村が連携し、実行委員会を結成しました。
本事業におきましては、80年の歴史を振り返ることで、国立公園の果たし
てきた役割を改めて認識するとともに、将来の国立公園のあり方について考
える機会とすることを目的としておりました。平成27（2015）年3月の記念
式典を皮切りに様々な記念事業が開催され、多くの皆様にご参加いただきま
した。

今般、1年間の記念事業の成果を形として残し今後の発展の礎とするため
に、本記念誌を刊行いたしました。本誌及び本記念事業が、関係者の皆様の
みならず多くの方に、富士箱根伊豆国立公園がこれまで果たしてきた役割と
この地にあふれる魅力について理解を深めていただくきっかけとなり、これ
からも地域の宝、日本の宝として一丸となって磨きをかける一助となれば幸
いです。

平成29年2月

富士箱根伊豆国立公園指定80周年記念事業実行委員会会長
(環境省関東地方環境事務所長)

笠井俊彦



富士箱根伊豆国立公園の将来に向けて ～指定80周年記念宣言として～	01
富士箱根伊豆国立公園 太平洋の島々から霊峰富士を繋ぐ一大火山群 ——火山地形と文化が創り出す多様な景観	02
はじめに 笠井俊彦 富士箱根伊豆国立公園指定80周年記念事業実行委員会会長	04
記念事業実行委員会	06
80周年に寄せて 須藤 栄 実行委員会副会長／村松 隆 実行委員会副会長／保坂公敏 実行委員会副会長／高木利夫 実行委員会副会長	08
80年の歩み 高橋 進 共栄大学教育学部特任教授	11
富士箱根伊豆国立公園の今 富士山地域——14 箱根地域——18 伊豆半島地域——22 伊豆諸島地域——24	14
記念行事	26
記念式典 基調講演——30 日本人が知らない日本の自然の魅力 水津陽子氏 合同会社フォーティR&C代表 事例報告——32 富士山地域 松本省二氏 FYG Mountain Guides代表 箱根地域 高橋正美氏 富士箱根ゲストハウス代表 伊豆半島地域 鈴木孝明氏 伊豆急ホールディングス株式会社営業推進部長 伊豆諸島地域 植松正孝氏 東京諸島観光連携推進協議会会長 パネルディスカッション——35 外国人観光客等の視点から考える富士箱根伊豆の自然の魅力 【パネラー】水津陽子氏 合同会社フォーティR&C代表／松本省二氏 FYG Mountain Guides代表／ 高橋正美氏 富士箱根ゲストハウス代表／鈴木孝明氏 伊豆急ホールディングス株式会社営業推進部長／ 植松正孝氏 東京諸島観光連携推進協議会会長 【コーディネーター】福井 隆氏 東京農工大学客員教授	30
功労者表彰	38
写真アルバム 富士山地域——40 箱根地域——42 伊豆半島地域——44 伊豆諸島地域——45	40
記念事業実行委員会規約	46
おわりに 小口陽介 富士箱根伊豆国立公園指定80周年記念事業実行委員会事務局長	48

記念事業
実行委員会

実行委員会構成機関

4都県36市町村

東京都	静岡県
大島町	沼津市
利島村	熱海市
新島村	三島市
神津島村	富士宮市
三宅村	伊東市
御蔵島村	富士市
八丈町	御殿場市

神奈川県	
小田原市	裾野市
南足柄市	伊豆市
箱根町	伊豆の国市
湯河原町	東伊豆町

山梨県	
富士吉田市	松崎町
身延町	西伊豆町
西桂町	函南町
忍野村	小山町
山中湖村	
鳴沢村	
富士河口湖町	

環境省

関東地方環境事務所

箱根自然環境事務所
富士五湖自然保護官事務所
沼津自然保護官事務所
下田自然保護官事務所
伊豆諸島自然保護官事務所

富士箱根伊豆国立公園指定80周年記念事業を開催するために、環境省と4都県36市町村のメンバーからなる実行委員会が組織されました。

富士箱根伊豆国立公園指定80周年記念事業
実行委員会について

- 1.設置目的：
- 富士箱根伊豆国立公園指定80周年記念事業を富士箱根伊豆国立公園及びその周辺地域において開催するため、必要な事業を企画し実施する。
- 2.構成：
- (1)実行委員会：

関東地方環境事務所長、関係都県自然公園所管部長、関係市町村長

(2)部会(富士山部会、箱根部会、伊豆半島部会、伊豆諸島部会)：

関東地方環境事務所国立公園課長、関係都県及び関係市町村の担当課長

(3)事務局：

環境省箱根自然環境事務所

- 3.経緯：
- 平成27(2015)年11月16日 設置
- ・規約決定

・委員参加同意
- 平成28(2016)年1月～2月
- ・書面による実行委員会2回、部会を2回開催

・記念宣言の検討

・記念式典についての情報共有

・功労者表彰受賞者の決定 など

- 平成28年3月6日 実行委員会会合
- ・記念宣言の決定

・記念事業の今後の展開等について意見交換

平成28年3月6日 記念式典開催

- 平成29年2月27日 実行委員会会合
- ・記念事業の反省

・実行委員会の解散



※詳細な区域確認等に当たっては、担当の環境省自然保護官事務所等に関わせて下さい。